

## 黒松

第75号

令和5年1月5日発行  
 柏崎刈羽地区保護司会  
 TEL(0257)23-8615  
 柏崎市豊町3-59  
 総合福祉センター内



撮影／保護司 佐藤俊男

## 新年のご挨拶

柏崎刈羽地区保護司会会長

飯塚 秀夫



新年明けましておめでとうございませう。日頃から皆様には、更生保護活動、犯罪予防活動にご理解ご協力を頂いており大変感謝しております。3年続きのコロナウイルス感染症が落ちつくと思いましたが、年末にかけて感染される人が大変多くなつてきている状態であります。保護司会の昨年度計画していた活動も縮小や中止をせざるを得ない状況となりました。

私達保護司は、罪を犯した人の立ち直りを支援することが最大の責務であり、その人達に寄り添いながら更生の道に導いていく大切な活動を行っていると思っております。そこで各団体とはかつて啓発活動、犯罪予防活動を実施していますが、その一環として「社会を明るくする運動」があります。

市内スーパーマーケット、中学校、高校での啓発活動を実施しています。そして昨年は「社明作文コンテスト」において中学校の部で全国の優秀賞にも選ばれ、ご協力を頂いた生徒の皆さん、学校関係者の皆さまには感謝をし、大変喜んでおります。

現在「柏崎刈羽地区保護司会」は45名で活動をしていますが、常日頃よりご協力頂いている「更生保護女性会」「協力雇用主会」「各関係諸団体」の皆さまには厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、今年こそ「コロナウイルス」に影響されず、諸活動が推進できれば良いと思っております。卯年が皆様にとって良い年でありますように、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願いたします。



# 勇気の道しるべ

柏崎市立第三中学校二年 品田 玲 菜

「優しい子だと思っていたんですけどね。」  
ニュースでよく聞く、罪を犯した人への印象  
を話した言葉だ。

私は、この言葉に疑問を感じる。「優しい子」だったのなら、非行に走ったり、警察に捕まるほどの事はしないのではないだろうか。そもそも、悪い考え自体、そんな子には浮かばないので、と。テレビや新聞には、毎日と言つていいほど、悲しい事件が報道される。私は、どんな事件にも、犯人はなんて恐ろしい人なんだ、と無条件に決めつけてきた。しかし、優しい人がする犯行とは、なんだろう。するのであれば、なぜ、そんな人が罪を犯してしまうのだろうか。私には、そのことについて心当たりがある。

雲行きが怪しい日、私は、祖母と外食に出かけた。久しぶりに祖母に会えて、浮かれた気持ちでいた。店内には家族連れなどがいて、結構混んでいた。雰囲気も良く、その中にいた、何も気に留めなかった人達の中に、あんな事をしてくる人がいるとは、誰も思わなかった。食事を終えて店を出たとき、空は黒く、雨が降り始めていた。私は持つてきておいた傘で、歩いて帰ろうとした。……しかし、傘がない。忘れたはずがない。慌てて周囲を見渡した。すると、私の傘を差して歩いていく人が、遠くにいるのではない。緊張した。声も足もでなかった。半分諦めて、ぼんやり自分の傘を見ていた。その時だった。

「ちよと、それうちの傘！」  
祖母は、いつもの穏やかな声からは到底想像できないような、張り上げた言葉を放った。遠くの人が、驚いて振り返った。私も驚いた。

大声に、と言うより、犯行を止めるという行動にだった。同時に、あの人が逆上して襲ってきたらどうするんだと思った。しかしそんな事はなく、怯えた様子で、ごめんさい、とその人は私に傘を返した後、足早に去っていった。今思えば、祖母があつた場にいなくて良かった。祖母がいてくれなければ、傘を盗まれて、もやもやとした気持ちで、一日を終えなければいけなかっただろう。そして、傘を盗んだ人も、「優しかった」人に、成り下がってしまっただろう。

その後、雨の中を歩きながら、祖母はこんな話をしてくれた。

「ああいう、生き方が分からなくなつてしまう人はたくさんいる。そのもどかしさや苛立ちを、悪いことで発散しようとするんだ。一度してしまつたら、やるのに抵抗感も無くなつていくし、それで社会に認められなくなつて、生きづらくなる。そしてまた悪いことを繰り返す、嫌なループができてしまうんだ。」私の傘を持つて歩いていく人のことを思い出した。なぜか気弱そうな、寂しい背中を記憶していた。祖母は続けた。

「そういう人こそ、生きづらさを知っているんだから、優しくなれると思う。ループから抜け出す正しい道を教えて、受け止めて、許すことが私達にできること。」

はつとした。そして考えた。テレビに映る、パトカーに乗った、暗い顔をした人達。少し生き方が違えば、優しくなれた人達だったのだ。少しの声の有無で、道を間違えてしまふのだ。しかし、その後その人がどうなるかなんて、私達には決められない。結局はその人の人生だから。祖母の話聞いて、罪を

犯してしまう心理が、少し分かった気がした。そして祖母は、悪いことが起きた時には、いつも笑つて、私にこう言う。

「いい子でいてね。」

その言葉を聞くと、犯罪を身近に感じずにはいられなくなった。それはどこか遠い所で起きることではなく、もっと近くの、周りの人がしてもあり得ることだと感じた。

自分にも、生き方が分からなくなる時が来るだろう。その時、人に声をかけられて気づく前に、自分からできることは何か、考えた。それは、周りに相談することだと思ふ。思い起こして見れば、今自分の周りには、家族、友達、先生、悩みを話せる人達がたくさんいる事に気づく。一人で抱え込まず、周りに相談することで、きつと少しは楽になれるはずだ。そして、悩んでいる人に気づき、声をかけることも大切だと思う。たとえ、罪を犯そうとする人でも、犯した人でも、「怖い人」と決めつけずに、人生に気づきを与えることができれば、社会はもっと明るくなれると思ふ。

もうこれ以上、優しい人が「優しかった人」にならないように、私は、少しの勇気で道を教えられるように、必ずなりたい。

## 社会を明るくする運動作文コンテスト

柏崎・刈羽地区表彰者

●優秀賞(柏崎刈羽地区保護司会長賞)

第一中学校二年 丸山 奏

●優秀賞(柏崎刈羽地区更生保護女性会長賞)

第一中学校二年 清水こころ

おめでとうございます



生きづらさを生きていく。世界は広くて温かい。

### 保護司

犯罪や非行をした人の立ち直り支援や、犯罪を予防するための地域活動をする民間のボランティアです。保護観察官と協働して保護観察に当たったり、社会復帰ができるように釈放後の住居や就業などの調整などを行っています。全国に約4万7千人います。

### 協力雇用主

立ち直りに協力することを目的として、犯罪や非行をした人を雇用しようとする民間の事業主の方々です。現在全国で約2万5千の協力雇用主があり、今後も就労支援を一層推進していくためにも新しい協力雇用主を広く募集しています。

### 更生保護女性会

地域の犯罪・非行の予防や、青少年の健全な育成を願うボランティア団体です。全国で約15万人おり、地域に即したミニ集会や親子ふれあい行事、子育て支援などに取り組んでいます。趣旨に賛同する女性は、どなたでも参加できます。

### BBS会

様々な問題を抱える少年達に兄や姉のような存在として接しながら、問題の解決や成長を願って支援する青年ボランティア団体です。全国で約5千人の会員があり、近年では学習支援活動等も実施しています。誠意と熱意のある方はどなたでも参加できます。

立ち直りに寄り添う心。それぞれが出来ることを。

“社会を明るくする運動”にあなたもご参加下さい。

各会の活動や支援に興味をお持ちの方は、柏崎刈羽地区保護司会に是非ご連絡ください。(23-1-8615)

### 保護司の一言

### 親孝行

保護司 山田 理恵

アルツハイマー型認知症と診断された母と在宅で過ごしていました。

いろんな事を忘れてしまつていく病氣。毎日「今日は何月何日？」と、からかつているつもりはなかったのですが質問をしていました。母はいつも「わからん」とごまかして笑っていました。

そんなある日、「お腹が痛い」と意識もろろろと訴え、病院に連れて行き入院することにになりました。コロナ禍の中で面会はできず、とうとう私の顔もわからなくなり、転院の時には以前とは違い、会話もなく目をつぶったままでした。

以前には春は公園の桜鑑賞、夏は能生に行き大好きなカレーを食べ、秋は紅葉ドライブと、認知症の緩やかな進行を願いつつ一緒に過ごしました。

夜勤勤務を終え朝帰ってくる私を「どこに遊びに行つたの？」と心配していた母。他界し月日も浅いので、仏壇の前に行くとも少しだけでも親孝行できたのかな？と胸が痛くなる時があります。

まだ残された父もいますので、悔いのないよう少しでも長く側にいられたらと思つている今日この頃です。

こんな私ですが対象者の方にも同じように寄り添えるよう心掛けたいと思つています。



柏崎市地域おこし協力隊

山田華緒 李

## 「住民が主役のまち・矢田集落」 を目指して

昨今はコロナ禍により地方で働くこと  
が見直され、各地方で活躍する「地域  
おこし協力隊」への関心が高まりつつあ  
ります。私自身もコロナ禍で将来を見つ  
め直し、地域おこし協力隊として活動  
する道を選んだ一人です。

地域おこし協力隊とは、都市部から  
過疎化が進む地域に移住し、地場産品  
の開発や販売・PRのほか、農林水産  
業への従事や住民支援などの地域協力  
活動を行いながらその地域への移住・定  
住を図る取り組みです。任期は最長で  
3年と定められていますが、協力隊の活  
動内容は各自自治体によって様々です。

私が地域活動に関心を持ったきっかけ  
は、学生時代に見てきた中国の農村が  
関係しています。当時、卒業研究のた  
めに中国・貴州省の農村を訪れ、目ま  
ぐるしいスピードで進む観光開発と、ど  
の村も同じような景観で整備されてい  
く現状に違和感を感じていました。各  
村には個性豊かな村人たちがいるにも  
かわらず、その個性を打ち消しかねない  
開発の進め方は酷く味気ないものと思  
えて、「その土地の村人自身が主役にな

つて村づくりを進めたら、面白いことが  
起こるのではないか」と考えるようにな  
りました。そこから地域づくりに関心が  
湧き、国内で地域おこし協力隊になる  
ことを志したのでした。

私は現在、柏崎市の矢田集落を活動  
拠点に地域おこし活動を行っています。  
2020年の9月に着任し、旧商店・  
矢田屋を活用した地域内外の交流の場  
づくりと、地域営農の支援をミッション  
に掲げて様々な活動を展開しています。  
全国の募集の中から矢田集落を選んだ  
のは、矢田住民の人柄に「この地域だっ  
たら何か面白そうなことができそう」と  
いう直感が働いたからです。

任期1年目は、地域内の交流機会を  
作るため、活動拠点である矢田屋を使  
つて様々なイベントを企画しました。ハロ  
ウィンやクリスマスなど、季節に合わせた  
イベントの開催や、知識や技を沢山お持  
ちの地域の方に先生になつていただき  
学びの場づくりを行いました。そして1  
年目の中盤には、地域の伝統行事に使  
われてきた祭礼衣装を、住民の皆さん  
と一緒に一新するというプロジェクトにも

挑戦しました。布の染色から仕立てに  
至るまで地域の皆さんの手をお借りし  
およそ半年がかりで新しい祭礼衣装を  
作り上げました。お披露目となる秋祭  
りでは地域の若手の方にも参加を呼び  
かけ、新旧の世代が集う雰囲気は矢田  
の新たな歴史の幕開けを感じさせました。

2年目は地域の中と外とをつなぐ活  
動に重点を置き、地域の皆さんと矢田  
地域をPRする機会を意識的に作って  
きました。これまでは隊員発信の地域  
PRが多く、地元の人が自分の地域を  
PRする機会はなかなかありませんでし  
たが、地域の人自身が地域の魅力を発  
信することによって、地域の魅力の再認  
識につながると考えました。まずは地域  
の皆さんの協力を得ながら、市内外の  
イベント等で矢田集落のPRを行い、そ  
の集大成として秋には矢田屋とその周  
辺を使ったマルシェイベントを行いました。  
マルシェイベントではたくさんの方の矢田住民

に関わっていただき、地域内はもちろん、  
地域外からも多くの方々が来てくれま  
した。こうした大イベントでの成功を通  
じて、この地域は人を惹きつける魅力が  
あるのだということを感じています。少  
しでも実感いただけたら嬉しく思います。

私の任期は現在3年目を迎え、協力  
隊活動に日頃ご協力いただいている地域  
のみなさんには感謝の思いが尽きません。  
様々な活動を振り返って実感するのは、  
地域づくりは大きなやりがいがあるとい  
うこと、3年間の任期はとも短いとい  
うことです。地域が発展途上の今は協  
力隊が火付け役となる場面が多いです  
が、いずれは地域の皆さん主導で自分  
たちの集落を盛り上げていくことが私の  
理想とする地域の姿です。任期は残り  
少ないですが、ここからは矢田の皆さん  
と併走しながら「矢田らしさあふれる集  
落づくり」を目指し、この地域の魅力  
発信に引き続き努めていきたいです。

### 令和4年度 各種表彰者

関東地方更生保護委員会委員長表彰  
……浅野 泰彦、小林 知明、星野 広栄

関東地方保護司連盟会長表彰  
……神林 均、田村 真、佐々木恵一郎

新潟県保護司会連合会長表彰  
……………阿部 和雄、桑田 朋子

#### 保護司の異動

よろしくお願いします！

新任 佐藤 洋  
(米山台)

新任 寺澤むつみ  
(米山台)